

## 令和7年度 佐賀大学夏休み学童保育 with カッチー教室 実施レポート

### 実施趣旨

近年、共働き家庭の増加により、就学児童の放課後および長期休みの過ごし方に課題を抱える保護者が増えています。そうした課題解決の一助として、令和元年度より、学内での学童保育を企画・実施しています。学内学童保育の実施によって、本学教職員の子どもたちに安全で安心な居場所を提供でき、保護者である教職員が安心して仕事に取り組むことにつながります。また、保護者が子どもと一緒に出勤・退勤ができるため、非常に利便性が高いと言えます。さらに、子どもが保護者の勤務先を身近に感じる機会にもなります。

佐賀大学ダイバーシティ推進室は、教職員のワークライフバランスの充実と大学の資源を活かした「学童保育」として、「夏休み学童保育 with カッチー教室」を小学生の夏休み期間中である7月23日(水)～25日(金)の3日間、実施しました。

参加児童総数は、41名でした。学年は、1年生7名、2年生5名、3年生7名、4年生12名、5年生6名、6年生4名でした(女児25名、男児16名)。申込者(保護者である佐賀大学教職員)は、32名でした(教員9名※、職員23名)。※附属学校含

### 7月23日(水)

**【朝の会】** ダイバーシティ推進室副室長荒木より、佐賀大学についての紹介があり、学童保育中のスケジュールやルールをみんなで確認しました。その後、バスに乗って鍋島キャンパスへ移動しました。



7月23日(水) 午前

【カッチー教室①】 からだなぞときアカデミー ～今日からきみもこどもドクター～

医学部附属地域医療科学教育研究センター 井上 香 先生 他

鍋島キャンパスにある医学部附属地域医療科学教育研究センターを訪問し、井上香先生、山下駿先生、溝口ゆかり先生、八板静香先生、星野有紀先生、古賀大介先生のご指導のもと、診察・診断の模擬体験を行いました。

まずは「臓器と病気の関係」に関するクイズに挑戦。少し難しい問題もありましたが、児童たちは意欲的に取り組み、楽しみながら学んでいました。

続いて、聴診器を使ったり、実際の国家試験でも使われる医療器具を体験させていただきました。問診や診察を通して病名を推理するという、本物の医師さながらの体験に、児童たちは興味津々でした。

最後には認定証をいただき、みんなで記念撮影を行いました。普段は「診てもらう側」の立場ですが、この日は「診る側」の視点を体験することで、児童たちにとって多くの気づきと学びがあったようです。



7月23日(水) 午後

【カッチー教室②】 作って遊ぼう！

教育学部 名倉 一美 先生

午後からは、みんなで美術館へ移動して、制作活動に取り組みました。名倉一美先生と美術館スタッフの皆さまのご指導・ご協力のもと、風鈴の絵付けをしたり、部屋いっぱいに広がる大きな紙に絵の具で自由に絵を描いたり、さらには美術館のガラスにクレヨンでお絵かきするなど、普段はなかなかできない特別な体験を楽しみました。

風鈴の絵付けでは、色の選び方や混ぜ方、絵の描き方にそれぞれの個性が表れ、まるで職人のように集中して取り組む児童の姿も見られました。完成した風鈴は、どれもとても素敵な仕上がりでした。

活動の最後には、みんなで2階に上がり、大きな紙に描かれた絵を全員で鑑賞しました。思いきり表現し、世界に一つだけの風鈴を作り上げた児童たちの表情には、満足感と達成感があふれていました。



7月24日(木) 午前

【カッチー教室③】 プログラミングと AI お絵描き大作戦

理工学部 山口 暢彦 先生

山口暢彦先生と一緒に、生成 AI による画像作成やプログラミングについて楽しく学びました。アイスブレイクで行った「人間ソーティング」では、約 40 人の児童が誕生日順に並ぶゲームで盛り上がりました。

続いて、生成 AI の紹介がありました。AI が作り出す不思議な画像に児童たちは「すごい!」「どうなっているの!？」と驚きの声を上げていました。実際にパソコンを使って画像を作成する体験では、完成したユニークな作品に歓声が上がり、みんな夢中になって取り組んでいました。

さらに、プログラミング体験では、「どうすれば効率よくフラッグを獲得できるか?」をテーマに、正しい命令の出し方や手順（フロー）を考える活動に挑戦。思い通りに動かず苦戦する場面もありましたが、グループで協力しながら試行錯誤する姿はとても楽しそうでした。



7月24日(木) 午後

【カッチー教室④】 税ってなあに？

経済学部 角田 幸太郎 先生

「税金って何だろう?」。身近だけど意外と知らない税について、角田幸太郎先生が小学生にも分かりやすく講義していただきました。児童の多くは「税は大人のもの」と思っていたのですが、実は自分たちも買い物のときに「消費税」を払っていることを知り、驚いた様子でした。また、集められた税金が学校などの公共施設に使われていることを初めて知り、学びの多い時間となりました。

講義のあとは、角田ゼミの学生さんが準備してくれた「お金」に関するクイズや買い物体験を楽しみました。別室に、そこでしか使用できない通貨を使って買い物ができるお店が登場し、児童たちは小物やパーツ、飾りを選んで小物入れを制作しました。クイズや買い物体験を通して、楽しみながらお金の使い方や価値について学ぶことができました。

途中、佐賀大学のマスコットキャラクター「カッチーくん」が遊びに来てくれ、児童たちと楽しいふれあいの時間となりました。



7月25日(金) 午前

【カッチー教室⑤】 みんなでつくる！オノマトペ図鑑

教育学部 中里 理子 先生

図書館職員

私たちの身の回りには、「ワクワク」「ドキドキ」などのオノマトペ（擬音語・擬態語）があふれています。そんなオノマトペの役割や魅力について、中里理子先生が分かりやすく教えてくださいました。普段はあまり意識していなかったけれど、オノマトペが私たちの行動や生活に深く関わっていることを知り、子どもたちは驚きとともに興味を深めていました。

講義のあとは、子どもたちが自分たちで集めたオノマトペを使って「オノマトペ図鑑」を制作しました。「これはオノマトペかな？」と確認しながら言葉を選び、それに合ったイラストを描いて、ひとりひとりが工夫を凝らしてページを仕上げていきました。

図鑑を製本している間には、大学の図書館を見学するツアーも実施。小学生にとっては初めての大学図書館に興味津々の様子でした。完成したオノマトペ図鑑は、子どもたちの感性が詰まった、見ごたえのある素敵な一冊となりました。



7月25日(金) 午後

【カッチー教室⑥】色・いろ・イロの不思議

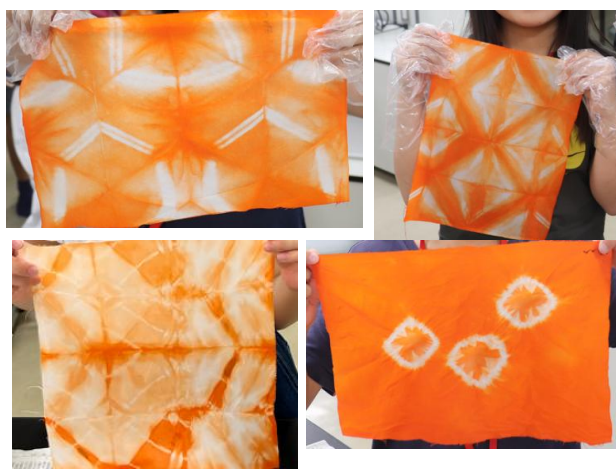
生物資源教育研究センター 川添 嘉徳 先生

農学部の実験室で、川添嘉徳先生のご指導のもと、染色体験を通して「色素の合成」について学びました。

まずは、染料づくりに挑戦。試薬や溶液を順番に加え、冷却などの工程を経て、アゾ色素の一種である「 $\beta$ ナフトールオレンジ」を合成しました。児童たちは、化学反応によって鮮やかなオレンジ色が生まれたことに驚きの声を上げていました。


次に、白地の絹を使って染色体験を行いました。割り箸・輪ゴム・ビー玉の3種類の絞り方から好きな方法を選び、絞り染めに挑戦。同じ絞り方でも模様の出方は一つひとつ異なり、オレンジ色の濃淡や染まらなかった部分が生み出す美しい模様で、児童たちは感動していました。

また、体験の合間には、川添先生がペットボトルを使った「色の不思議」に関する手品を披露してくださり、児童たちは歓声を上げながら楽しんでいました。



学童保育終了後、子どもたちには日記を書いてもらい、ご協力いただいた先生方にお渡ししました。

からだなぞときアカデミー  
～今日からまみれこどもドクター～




7月 23日

本どうのおいささんみたいは  
白くいきまうしんまきつけて体の音を  
はじめで聞いて本どうは心そうが  
ドクドクしているのがわかって  
おどろきました。すこいと思  
ました。楽しかったです。

名前 ( )

作って遊ぼ!

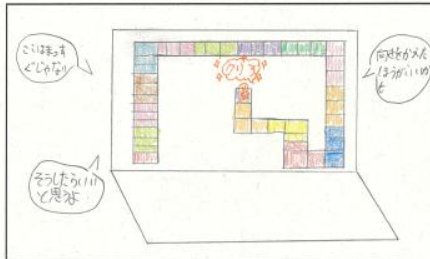


7月 23日

ぼくは、つくってあそぶの  
かたまりをつくりをしました。い  
う人に色をぬることもしてあげ  
手につかないようにするのが  
すかしかたです。ペーパーは  
りんをキリリリンラするところが  
たのしかったです。またやりたいです。

名前 ( )

プログラミングと  
AIお絵描き大作戦



7月 24日

ぼくは、プログラミングがとて楽しかったです。  
でも、なぜなら班の人と協力していろいろなバリエーション  
と考えて、最後に成功したからです。  
その後ぼくはプログラミングにハマりました。  
ほんとうにありがとうございます。  
また会える機会があれば、よろしくお  
ねがいします。ありがとうございました。

名前 ( )

祝ってなあれ?



7月 23日

ワークショップにさん  
かして、おかいものをしなか  
らぜい金について学べた  
ことがたのしかったです。  
カチーくん、おいかけ  
つしたこともたのし  
かったです。

名前 ( )

